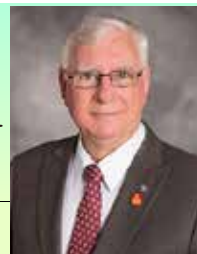




ロータリー：
変化をもたらす

2017-2018 国際ロータリーのテーマ
ロータリー：変化をもたらす
ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

2017-2018 RI会長
イアン H.S.ライズリー
オーストラリア
(ビクトリア州)

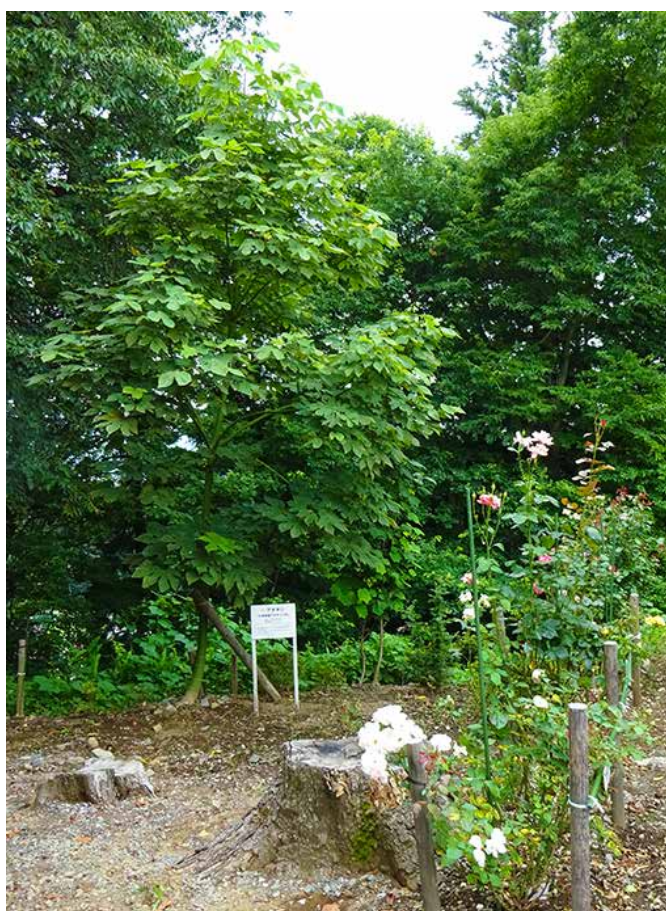


第1411回 アオギリ例会 平成29年8月1日(火)

『アオギリ例会』

12:20より高尾公園「被爆アオギリ二世」前にて

- ・唐澤敏治会長挨拶
- ・黙祷



・アオギリについてのお話 矢野昌史管理責任者



平成25年5月に「2013ロータリー世界フォーラムin広島」が広島市で開催されました。広島のホテル委員長より、当ロータリーの地で被爆2世のアオギリを記念に植樹し「平和への思いを未来に残してほしい」との要請がありました。その要請には条件があり、被爆2世のアオギリの管理責任者を決め、責任者の連絡先や住所の他、植樹場所についても所在をきちんと報告してほしいというものでした。丁度その年、私は伊那中央ロータリークラブの会長の任期中で、私の生活圏内の程近くに公園があり、管理責任者でもあったので、被爆2世のアオギリを公園内の敷地に植えさせてもらい、その管理を引き受けることにしました。

広島から送られてきた当初のアオギリは30センチ程でした。枯らしてはならないと根付くまで毎日水をやり、冬には寒さ予防にワラで囲い管理をしていくうちに5年が経ちました。現在は5メートルを超すほどに成長しました。看板を立てたり、周りにバラなどを植えて少し賑やかにし、多くの皆さんに見に来ていただき、平和への思いと尊さを知っていただけたらと思っております。

『通常例会』

12:40より「きたっせ」にて



■ 点 鐘 12:40

■ ソング 君が代・奉仕の理想・四つのテスト 平澤理ソングリーダー

■ ゲスト・ビジター紹介 ・伊那中央RC支援留学生 金根さん

■ 会長談話 唐澤敏治会長



今日から8月。先程はアオギリ前にての黙祷ありがとうございました。8月に入り、日本人として生を受けた私たちが最初に思い出すことは72年前、広島・長崎を始め各地で受けた大きな空爆・空襲ではないかと思えます。

それから、今日8月1日は、50年前松本深志高校2年生の一行46名（うち教師5名）が北アルプス西穂高岳に夏山登山を行った日です。西穂高岳独標は、山頂2900mに向う険しい登山道にある1つの岩峰です。いくつかの独標・岩峰を越え、見事山頂に立ちました。下山を開始するころ雨が降り出し雹（ひょう）が混じった雷雨となりました。「しまったな」と云う思いに胸をつかれ、リーダーの教諭は稜線にとどまるか、急斜面で待避するか、独標を越えてハイマツ帯に逃げこむか。いずれも大きな危険が伴う。・・・「独標を越えよう」と判断、腹を決め独標越えをしているその時（午後1時40分頃）音もなく火が吹いて雷が落ち、男子生徒11人が電撃死、ショックによる転落死。尊い命が奪われた事故から今日でちょうど50年。同級生たちはもう60代の後半となり、父母は大方泉下に眠る。又、冬山での悲しい事故もありました。リーダーとはいえ、いずれも1人の判断による大事故。何ともやりきれない気持ちです。事故で背中から足へと雷が抜け重傷を負いながら生き残った松本のAさん。今でも同級生2人と毎年、事故当時と同じ上高地からの登山ルートをゆっくり登っているとのこと。

■ 慶 祝 8月誕生日祝い ・橋爪多津男会員

■ ニコニコボックス

◆唐澤敏治 先程のアオギリ例会ご苦労様でした。
信大留学生キンコンさん、よくお出でいただきました。ゆっくりして行って下さい。
本日矢野さん、色々ありがとうございました。

■ 幹事報告 市川満貞幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 委員会報告

・7月30日（日）RLIパート1（於：塩尻市市民交流センター・えんぱーく）の報告 唐澤稔会員



私と池上会員の2人で出席してきました。朝9時30分より午後5時過ぎまで、昼食をはさみ休憩なしの缶詰め状態で研修して参りました。まずRLIって何？これはロータリー・リーダーシップ・研究会だそうです。2600地区で40名、各クラブより入会3ヶ月～21年位の会員が6つのセッションに分かれ、各1時間にわたり各テーマ別に各自の意見を述べるというプログラムです。

1. リーダーシップの本質をつかむ
2. 私のロータリー世界
3. 倫理と職業奉仕
4. 私たちの財団
5. 会員を引き込む
6. 奉仕プロジェクトを創造する

私のグループは、入会して6～7年の会員でしたが、私を含めわかる部分とわからない部分があり皆同じでした。一番わかったのは入会の理由。「取引関係や友人に誘われて入会した」どこも一緒だなと感じました。まだ3回行かなければならないという事です。以上報告致します。

・7月30日（日）地区補助金説明会（於：松本大学）の報告 小向誠一ロータリー財団委員長



7月30日、松本大学で行われた地区財団補助金説明会に田中副会長・市川幹事・財団委員長小向が出席してきました。2017～2018年度の地区補助金審査結果と実施に向けての留意点及び報告書の作成について説明がありました。前半は補助金事業に取り掛かる前からプロジェクトの内容、支援先との整合、広報活動、予算書の提出。提出された補助金申請の内容の審査、確定した補助金を担当クラブの補助金口座へ振り込み、事業終了結果の報告。後半は補助金管理規定の作成、補助金専用口座の開設、補助金管理と支出、報告書の提出をプロジェクト終了の2ヶ月以内におこなわなければならない、と云う事についての説明会でありました。

・ゴルフ部より 小川秋實ゴルフ部長



今年度の第1回ゴルフコンペを8/17に予定しています。第2回は9/19のゴルフ例会と併せて計画致します。改めてご案内致しますので大勢の皆様の参加をよろしくお願い致します。

・「ロータリーの友」8月号紹介 清水吉治会員



今月は年度初めという事もあり、組織にとり重要かつ基本的な情報が満載されています。会員に目を通していただきたい箇所や、私が気になった所を紹介いたしますので宜しくお願いします。

・表紙を見て気づいた方もいるかとは思いますが、今までと違い思い切った表紙になっています。まさしく「これまでの殻を破る」と言う気持ちの表れだと感じました。

*これより横書き部分です

・巻頭のRI会長メッセージでは「ロータリーって何？」聞かれたら、貴方ならどう答えられますか。一言二言で説明できるような組織ではないと言うことが解ると思います。私はP6のロータリーの目的と特に「四

つのテスト」が本質のような気がしておりますが如何でしょうか。

・数年前より「Eクラブ」なるものが話題になってきたようでしたが、8ページ以降に結成の事例が紹介されておりますので是非目を通してください。インターネットをうまく使い今時の若者の感性を生かした、どちらかと言うと軽いノリで運営しようという、新しい組織づくりの試みが始まっています。

・P15、今までのロータリーは自己完結型の組織運営であったと思いますが、これからは今まで以上に他の組織とのネットワークを張り、地元の力を生かす方向を模索しようと言うことでRCCの考え方が提唱されています。

・P24-27、アトランタ国際大会報告の中で、伊那RCの藤沢秀敬氏と山田益氏が紹介されております。P26

・P32、米山記念奨学事業の基礎知識として奨学金制度が解りやすく紹介されています。

・P41、日本ロータリーの実力指数が掲載されています、我が伊那中央クラブの頑張りが一目瞭然だと思いませんか。

* これより縦書き部分です

・P4、2610地区大会における講演要旨（元総務省総務審議官：吉崎正弘氏）

20年後には、市町村の半数が消滅可能性都市になるが、どう乗り切れるか？

元気とは、幸福とは、が考え方のキーワードになる。・二流の田舎づくりをやめ一流の田舎づくりを目指そう。世相の現状を見るに文句なしに共感です。

・P18、友愛の広場「奉仕とサービス」私たちが通常使用するサービスは、和製英語だとのこと。文献的に奉仕とサービスを見直すと微妙な違いが解ります。

・P19、「うれしい恐怖体験」ゴルフ好きの会員にお勧めです。アルバトロス体験者の報告です。

・P21、「お墓について」国や宗教によって死生観に違いがあり、墓もまた違う

・P23、俳壇、歌壇、柳壇 伊那中央RC創立15年くらいまでは、熱心な会員が積極的に投稿していた時代もありました。今月は2600地区関係では2名が採用されています。其のうちに辰野クラブ伊藤隆一氏の川柳がありました。

■ 出席報告

会員数47名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者22名 事前メイク3名
出席率62.5% 前回出席率 修正なし

■ 理事会報告 市川満貞幹事

1. 2018-2019年度上伊那グループガバナー補佐候補者の推薦について
2. マレットゴルフ・納涼家族例会について
3. 地区事務所からの「義捐金協力依頼」について
4. 伊那中央RC事務所の夏期休業について
5. 8月の行事予定とメイクアップ扱いについて
6. その他

■ 点 鐘

13:30

次回例会

8月8日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店

・クラブフォーラム「ロータリー財団」

・例会前：臨時理事会